

カテゴリー 人の出会い
 番号 B-01
 催行期間 通年
 所要時間 3 時間
 キーワード 体験 食べる 一次産業

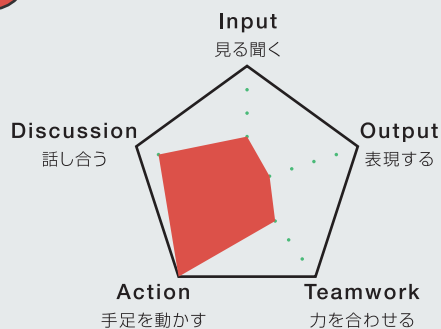
若者の漁業離れを食い止める



船上でホタテ養殖の講義を行う様子



学びのポイント



挑戦を続ける若き漁師を訪ね、
 まず自分が動くことの大切さを学ぶ



船上でカモメに餌をやる参加者



漁船で養殖場に向かう参加者



ワカメの芯抜き体験を行う参加者



概要

漁船に乗って養殖現場を見学。ワカメかホタテの試食も

震災後、ブルーーツリズムを始めた若き漁師を訪ね、漁業の仕事を体験するプログラムです。震災後急速に若者の漁業離れが進む南三陸町。その課題をなんとかしたい、と立ち上がった若手漁師の取り組みを伺います。実際に漁船に乗って、養殖場を見学した後、作業場で漁具の整備や塩

蔵ワカメの製造作業を体験します。ワークショップでは、漁業離れ、魚食離れを食い止めるアイデアをみんなで考えます。



タイムスケジュール

0:00 ~ 0:30	レクチャー 「漁業の課題」
0:30 ~ 1:30	漁船に乗って養殖場の見学
1:30 ~ 2:30	作業場で漁業作業、試食
2:30 ~ 3:00	ワークショップ※下記詳細
【振り返り】 絵日記ワークショップ、グループで共有 (20分)	
【ワークショップ】 漁業離れ、魚食離れを食い止めるには? (20分)	
【発表】 グループごとに発表 (20分)	



インフォメーション

所要時間	3 時間
催行期間	通年
最少催行人数	10 名
最大人数	40 名
フィールド	歌津地区
持ち物	動きやすい服装、靴



講師紹介



金比羅丸 高橋 直哉

1980 年生まれ。歌津出身、在住。20 歳で漁業を始め、牡蠣、ホタテ、ワカメ等の養殖を行う。震災により一時は海の仕事を中断せざるを得ない状況になった。その時、同じく仕事を失った若い漁業者が海から離れてしまう危機感を感じ、若い漁師が海に戻って来れる仕事をつくらうと、ブルーーツリズムを始める。現在は、ネットを通じてワカメを販売。ボランティアで来た人や、ブルーーツリズムの体験者を中心に顧客が広がっている。

注意事項

- ・人数が 20 名以上の場合は、レクチャーとワークショップは近隣の公共施設を使用し、車での移動を伴います。
- ・一般の漁船に乗れるのは 13 名までです。それ以上の場合は、作業場での作業とローテーションになります。
- ・ライフジャケットを貸し出し致しますので、乗船時に必ず着用してください。
- ・海上は日射しが強いので、帽子を着用し、熱中症対策を行ってください。
- ・風が強い場合がありますので、帽子やタオルが飛ばされないようにご注意ください。
- ・天候や波の状況によって海に出れない場合は、作業場での作業のみとなります。